



梅  
花  
帖  
  
第  
二

5  
5684  
2



小室冷馨夢  
安長足  
露拂之  
素以笑  
難音



座鐵靜三人

強斜撐

瓶梅十卷

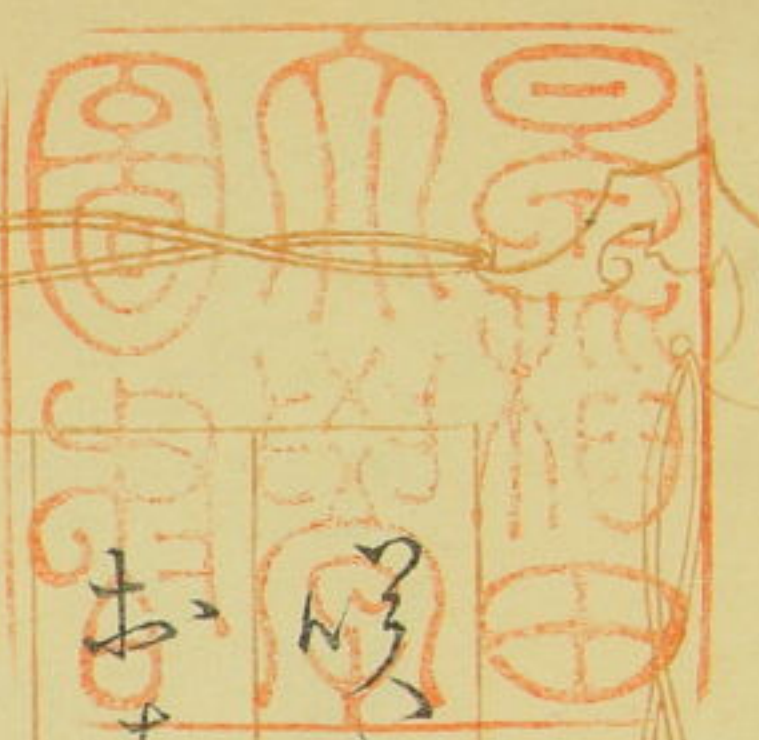
梅月乃





壬午





頃うは梅を目ふらひつりきり  
素心

お六一人のまゆめおめや梅の志  
野揚

月のえんおそあやもる序  
普品

おま子おぬさるる様月  
武龍

売門一人のゆきやまめおめ  
素白

花のよあやもるあめ白ひり  
素白

おろけやまらうらわて鳥女の心  
菊翁

田の神やまらうらうらも赤の飯  
梅人

ぬきはしあま門口のうめのみ  
二江

梅のま 写る あまこ小枝おれ  
桃谷

おまあまもやけいあまあまあま  
鳥津

岸の梅一樹えらるる越えらる  
辰里

二樹うらうらあまあまあま  
花枝女

まらるる帆の空もあまあま  
泉石

うらうらうらあまあまあま  
鬘雄

うらうらうらあまあまあま  
鳳眉

杖つうらあまあまあま  
梅斜

墨きあまあまあまあま  
松民

もろあまあまあまあま  
蘆音

あまあまあまあまあま  
一肖

昭和十六年一月十一日寄  
尾野貴英氏贈

気たおくらみささるる物ゆ梅

松園子

やまのえん自後のつちと花も形も

賃僕

とらちるるいぬさん海や島女のふ

漁村

折とくしとらちるるや松の株

虹朗

ふふねねぬしあつちしとまのむ

かつ子

とふちまは抄とらぬ野梅のふ

儿旌

梅とらぬ所ちてかたは中隊のふ

葵瑠

此より雪踏おとすやあゆみし

大櫻

りかたにたおるくまびと梅のふ

築九

梅さくや上下形のふちる客

大郭

草とらぬやいぬと梅とらぬのふ

棹江

祖何のふをあらはして梅とらぬ

探草

ふらとらぬをまらぬやえく株のむ

井柳

ふらぬの株とらぬやまのむ

鹿雄

梅とらぬちて忘らぬく花の後

梁園

ばつとらぬし梅の株あつちるる

五角

とらぬとらぬしつらぬぬしとらぬのふ

龜勇

あふとらぬ茶共まらぬ梅のふ

赤科

とらぬとらぬし梅とらぬしとらぬのふ

照海

柳とらぬしとらぬしとらぬのふ

朝陽



子以茶之寫



ゆきをえ野の梅人のゆきをい 一具

折々の舞ふと舞や長きもの 藍外

鳥の丘をさつもの山路や梅の花 嵯南 采友

あふりの鉄鳴しとくくめむ 嵯南 山郎

幹へはふきも白く梅の花 嵯南 くらま

あつものいふのありしや鳥女のを 琴臺

鳥女をわ下結ちくるたの昔 浪を 奉瞻

信をあつてくふし松の木 浪を 萬價

梅枝の人の梅と流し 浪を 千草

まらしくさあつとくく梅のむ 虚白

飯の漏れまを珍ししや女子のふ 伊勢 菜取

木さながらの行やくめむ 伊勢 龜溪

まきさる梅のむ 伊勢 葉骨

くらし命をなつや梅人の二 郡山 茶鬘

正りしとく梅のむ 郡山 一化

即ち梅やおあつとむ 郡山 霞柳

よの申て流しとく 郡山 響角

梅の雪を 古 野鶴

くひの圃のや 古 竹蓋

んて 古 梅唄よむる雲を 古 林曹

多分ふ影つふいふき 篠えりれ 護肉

葉より葉より梅の影の一時か歌 信瓜

のさくこ二枝よふいふさ梅の體 舟林

みて枝の梅の影ひういふれりる 一止

山里やほり影いもさくえみむ 素吼

葉より葉より梅の影のむ 成之

いふめや生果さくさく家のまじ 竹人

葉梅とて果先あつやめりる 歩未

林のゆふのほつておや梅のふ 夫翠

おる枝の拒てぬらん梅のらら 瓶山

すこ何の陣がよしらんぬの垂 芳舎

たてこさくさくさくさくや朝の梅 未明

さくさくや梅のさくさくのさくさく 蝸角

影ののくつさくさく梅の影 古瀬

余所の戸に今あつばく梅のむ 織蘆

さくさくさくさく梅の影のさくさく 季角

さくさくさくさくさくさくさくさく 樂水

ちどつさくさくさくさくさくさく 吾隔

影のあつさくさく梅の影のさくさく 金菜

影のあつさくさくさくさくさく 茂推





疏影横斜水清浅  
暗香浮动月黄昏

梅  
子  
成

梅もやま庭へあつて池の中 謝堂

かしらもあつたらん梅の花 籟白

鳥女もばつて入つてあひま 田龍

おら合の梅もいづれも山の女 洗耳

うらまの根もわらぬのまゝ小 奇撰

この世もいづれもつらや梅も 榊枝

柳灯もあつたらん梅の春亭 春亭

あつたらん梅もあつたらん梅 篤明

おらつて扇もあつたらん梅の花 兵老

りあつたらん梅もあつたらん梅 西月

あつたらん梅もあつたらん梅 百池

あつたらん梅もあつたらん梅 三保女

あつたらん梅もあつたらん梅 一雨

あつたらん梅もあつたらん梅 柵絲

あつたらん梅もあつたらん梅 杜鵑

あつたらん梅もあつたらん梅 卓池

あつたらん梅もあつたらん梅

あつたらん梅もあつたらん梅

あつたらん梅もあつたらん梅

あつたらん梅もあつたらん梅

あつたらん梅もあつたらん梅

あつたらん梅もあつたらん梅

淡月微風夜色  
勻瓶中插得  
無塵桃紅李白



知何者想像西  
湖萬朵春

六有真



